

ゆめかなえ

健和会病院 広報誌

No.15

2024年 春号

KENWAKAI
HOSPITAL
MAGAZINE

2024年5月発行



Topics

肛門外来の今 本田晴康医師 インタビュー

健康増進プロジェクト リハビリテーション科

核兵器禁止条約 2人の医師が参加

無料低額診療事業で症状改善 糖尿病罹患患者についての考察

地域から選ばれる 病院をめざして

当院の肛門外来は2012年から始まり現在に至ります。
今回は本田晴康副院長に肛門外来の現在や痔の治療についてのお話をお聞きしました。



本田晴康 医師 HONDA HARUYASU

経歴
 兵庫県出身
 1985年 信州大学卒
 1998年 健和会病院着任
 2009年 当院副院長就任
 日本外科学会専門医・指導医
 日本消化器外科学会専門医・指導医
 日本大腸肛門病学会専門医・指導医
 日本臨床肛門病学会技能認定医・技能指導医

肛門外来の
ご案内

第2・4 金曜日(要予約)
 【予約センター】
 TEL:0265-23-3115(代表)

Q. 肛門外来について教えてください。

本田：月に2回金曜日の夕方、診療しています。もちろん専門外来でなくても外科受診が可能です。肛門外来だと集中して診察ができるのでそういった外来の時間を設けました。おしり関係の痛み、出血、脱肛、かゆみ等…なんでもご相談ください。

Q. どんな診察をするのですか？

本田：まず問診を行います。お話を聞いた後、指触診や肛門鏡で実際に確認をします。デリケートな部位なので「何十年も苦しんで、今回やっと来た」という方も多く、受診だけでもハードルが高いです。看護師も必ずついて、相談も受け付けています。羞恥心に配慮し、また痛みを伴うのではないかと不安を和らげるためにも、看護師の役割は非常に大きいです。



Q. どんな人が入院になりますか？

本田：初診で即入院になる方はほぼいません。緊急入院の場合は「肛門周囲膿瘍」が多いです。発熱・肛門周囲に膿が溜まって痛みがある場合は切開・排膿が必要です。あとは「嵌(かん)頓(とん)痔核(じかく)」といって内痔核が飛び出して腫れ・痛みがある場合も緊急入院になります。計画的な手術のための入院が多いです。おかげさまで開業医の先生からの根治術の紹介が多く、手術が必要な方が集まってきている印象です。肛門外来が始まって12年、ネームバリューが上がってきていると感じています。地域の肛門診療のセンター的役割を担っていると自負しています(笑)。

Q. なぜ肛門治療を専門にしたのですか？

本田：ももとは消化器外科が専門です。消化器外科は食道からおしりまでの消化管と、肝臓、胆のう、すい臓を扱います。肛門疾患については学会に出席したり他院に見学に行ったりして勉強しました。痔はQOL(生活の質)に非常に関連しています。例えば早期胃がんは手術が必要ですが、自覚症状はないことが多いです。その点、痔は症状があるので治療後に医師が恐縮するくらいの感謝のお言葉をいただけることがあります。痔は命に直接かかわる病気ではないのですが、患者さんにとっては非常に重要な病気です。治ることによって生活が変わる、性格が明るくなる、旅行に行ける、温泉に入れる…。温泉は抵抗感があり入れない方が多いのです。私にとって肛

門外来は、存在意義を感じやすくやりがいにつながります。それから、痔の手術は時間が短いです。だいたい1時間以内。長時間の手術はあまりないので、医師のセカンドキャリアとしてどうでしょう？

Q. 最近新しい器具を開発されたとか？

本田：本田式シャトル型肛門鏡という手術時に使う肛門鏡をメーカーと共同で開発しました。既製品では使いにくいこともあり、大変満足しています。

Q. 痔で困っている人へ一言お願いします。

本田：まず、受診しましょう。自己判断で痔だと決めつけて市販薬を使っていて、治療が遅れてしまう場合もあります。出血の場合は外科なり消化器内科に受診しましょう。直腸がんの可能性も考えられます。出血は痔だけではありません。一度は検査にきてください。

Q. 痔にならないために。

本田：痔は高血圧や糖尿病と同じように生活習慣病です。なので、おしりに負担をかけないことが大切。便秘・下痢をしない、長時間の座位、トイレで長時間いきまない、などが大事です。お酒も辛いものも良くないですが、楽しみたいときもあるでしょうから、調子が悪いときは控えましょう。ちなみに、猫や犬など四つ足動物には

ちよつと
ひとこと

患者さんには選ばれる 病院になる

飯田下伊那地域の外科手術件数がここ10年くらい毎年のように減少しています。内視鏡手術が増えたのも原因ですが、大きな理由は人口減です。1年間に1000人くらい減り、手術数も減りました。私が26年前に飯田下伊那に来た時、人口は17万人と言われていましたが現在は人口14万人です。

大事なことは「かかりやすい病院になる」ということです。高い医療技術・いつでも診てもらえるかかりやすさ・接遇など、患者さんには選ばれる病院にならないといけません。

外科は患者層が若く将来の内科の患者さんになってくれるかもしれません。外科が内科の先を行っているんです。ですので、患者さんの数は外科が減少する限り内科も減少してしまうでしょう。副院長としては、医師の働き方改革など難しいところもあるのですが、とにかく患者さんには選ばれる病院を目指すためにできることを1つずつやっていきたいです。

子どもたちの「からだの使い方チェック」

リハビリテーションセンターでは地域健康増進プロジェクトチームを立ち上げリハビリ専門職として地域の健康増進に一役立てる様企画しております。2024年1月27日健和会病院で地域の小学生を中心とした子どもたちの体力測定を実施しました。当日は13名の子も達と家族が参加し現在の体力の把握と今後の成長に必要なフィードバックを理学療法士の目線で行いました。

リハビリテーションセンター
地域健康増進プロジェクトチーム
理学療法士 **牛島毅** USHIJIMA TAKESHI



成長期の障害、部活動期に多いスポーツ障害、大人になってからの運動器機能障害や基礎体力低下などは、子ども時代の発達・発育といった成長の過程が大きな影響を与えている可能性があります。子どもの頃にどんな身体機能を獲得しておくべきか、どのような運動経験をしたのかなどが、後の身体機能、運動パフォーマンスに大きな影響を与えるひとつの要素と言えます。そこで今回子どもたちの現状を親御さんと共に知る機会になればとこのようなイベントを企画しました。

今回は一般的によく見かける筋力や柔軟性などを単純に評価するものではなく、運動そのもののパフォーマンスや、各関節や部位が機能的に働いているかを評価できるように、理学療法士の専門性を活かした動作分析・運動学的観察をベースにして測定種目を選定しました。その評価結果から現状のお子さんの身体的な特徴、生活の場で実体験できるような動きや遊びを親

御さんにお伝えしました。意外と簡単な動きでも自然とこれまでの癖が出ます。参加してくれた子どもたちも戸惑いながらも楽しそうに取り組んでいました。成長の過程の中で各年代における発達の課題はそれぞれに違います。5歳から12歳までの期間が子どもの身体能力、運動機能が飛躍的に発達する時期とされています。この時期に適切な運動や遊びを通じた沢山の刺激を経験し、脳や身体各器官に入力されることが非常に重要なことになってくるわけです。このような考えをより多くの方々と共有していき、今後の成長のお役に立つきっかけになれば今回のイベントは非常に意味のあるものになったのではないかと考えております。今後もあらゆる活動を通して地域の中に有益な情報をお伝えしていく役割を担えるよう、日々研鑽していきたくと考えております。

柔軟性、身体連動性、
バランス能力、体幹機能を
評価しました。



武力ではなく
話し合いによってのみ解決できる

2024年1月から3月に小児科で研修した河野絵理子医師と月2回小児科で診療をしている光武鮎医師は、2023年11月27日から12月1日にニューヨークで行われた核兵器禁止条約第2回締約国会議に参加。2月8日その報告会を行いました。会場には職員など60名、オンラインで全国70か所からの参加がありました。

今まで核の論議は核保有国がしていたのに対し、この会議は核兵器を持たない小さな国や市民社会の代表が、条約の具体化を議論している点が画期的であったこと、被爆者の木戸季一さんが、今まで経験してきたことの答えとして「問題は武力ではなく、話し合いによってのみ解決できる」と発言し、それが科学者たちのどう核廃絶をしていくかという議論とかみ合っていたことが印象的であったこと、しかしその一方で「性的マイノリティは認めない」と公言する国の代表もいて、課題も感じたことなどを報告。

若い世代がこうしたテーマに生き生きと取り組むことに大きな希望が感じられる報告会となりました。



この報告会はYOUTUBEで視聴できます。
またPODCASTで2人が詳しく語っています。

YOUTUBE



PODCAST



反核医療者の会HP



書籍のご紹介

健和会病院の職員が
寄稿・編集した書籍を
ご紹介します！



Progress in Rehabilitation Medicine

Oral Intake in the Complete Lateral Position as a Compensatory Method for a Patient with Severe Dysphagia:
A Case Report(Naoki Fukumura , Kuniko Makigami)



◀ 論文は無料でアクセスできます

2024年2月23日発行(日本リハビリテーション医学会)



Medical Science Digest 2024年4月号

健康格差への挑戦
Tackling health disparities as medical professionals

診察室で見えてくる健康格差:子どもの貧困

和田 浩: P9-12

2024年3月23日発行(ニューサイエンス社)



「無料低額診療事業で病状改善」
糖尿病罹患患者についての考察

木下嘉代 KINOSHITA KAYO

(法人統括看護部長 認定看護管理者 糖尿病療養指導士)



「無料低額診療事業」とは、生活困難な方が経済的な理由によって、必要な医療サービスを受ける機会を制限されることのないよう、無料または低額な料金で診療を行う、社会福祉法の事業の1つです。健和会病院では2011年9月から実施しています。2020年から2022年に事業を利用し、糖尿病治療を行った患者さんに焦点を当てた調査を行い、治療継続と病状改善の効果を考察しました。

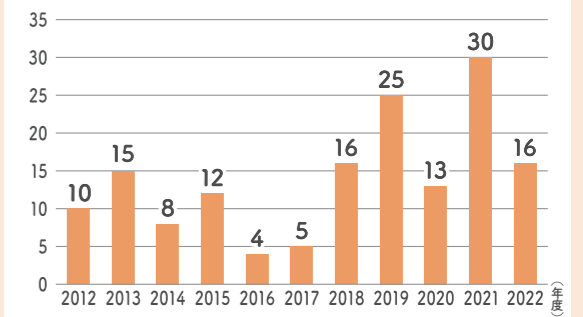
調査結果では、受診により、開始時と3か月後の血糖変動ではHbA1c(検査前1-2か月程度の血糖変動を判断する検査)は明らかに改善しました。患者背景では、平均年齢が59.15歳と若く年金受給前の方が多いです。高血圧・脂質異常症・慢性腎臓病という慢性疾患や合併症が多く見られます。雇用形態は非正規又はアルバイト雇用が多く収入が不安定な事が想像され、このような経済的背景もあり受診中断歴も多い傾向です。

これらは糖尿病治療中断に関しての大規模調査とも多くの項目が重なります。糖尿病治療薬や検査は高額です。様々な「社会的処方」が必要と考え、安心して医療を受けられるためには、多職種の長期の関わりが重要です。

本研究は、飯伊民医連「学術運動交流集会」の他、信州糖尿病研究会、糖尿病学会地方会に発表の機会を得ました。多くの方が事業と効果を知るきっかけになればと考えます。

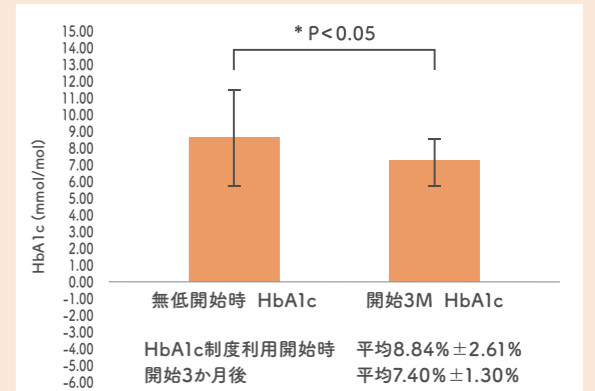
※調査に関しては倫理的配慮として個人の特定ができない情報処理の実施、使用後の情報破棄をしています

2012-2022年度 新規利用患者の推移



- A病院は生活に困り、診療費の支払いが困難な方に対し、無料低額事業を2012年から行った。
- COVID-19感染症流行下の3年間、利用数は増加した。

HbA1c 制度利用開始時・3か月後比較



外来診療体制表

			月	火	水	木	金	土
内科	午前	総合内科 外来①	鷺見 順教	伊壺 友希	平林 直章 (第1・3・4・5週)	横川 清	油井 瞭太朗 (第1・3・5週) 上島 翔太 (第2・4週)	交代制
		総合内科 外来②	小林 奈津子 (消化器内科)	牧内 雅信 (循環器内科)	前澤 浩(第2週)	八木 ひかる	八木 ひかる	
		総合内科 外来③	牛山 雅夫(11時迄) (脳神経内科)		小平 睦月 (循環器内科)	原 悠太 (腎臓内科)	塚平 俊久 (消化器内科)	
		予約診療		平林 直章	北原 明倫	北原 明倫	伊壺友希/鷺見順教	
	午後	予約診療	伊壺 友希		北原 明倫		八木 ひかる 北原 明倫	
	夜間	予約診療			塚平 俊久(第3週) 清水 信明(第3週)			
循環器	午前	予約診療	小平 睦月 (第1・5週)	牧内 雅信 小平 睦月	牧内 雅信	牧内 雅信 小平 睦月(第2・4週)	牧内 雅信	清水 信明(第4週)
	午後	予約診療			清水 信明 (第1・2・4・5週)			
消化器内科	午前	予約診療	塚平 俊久	関口 恭弘	塚平 俊久 関口 恭弘	塚平 俊久 小林 奈津子 関口 恭弘		塚平 俊久 (第4週)
	午後	予約診療			塚平 俊久 (第1・2・4・5週)			
脳神経内科	午前	予約診療			牛山 雅夫	牛山 雅夫	牛山 雅夫	牛山 雅夫(月1回)
	午後	予約診療	牛山 雅夫					
呼吸器内科	午前	予約診療						八木 ひかる(月2回)
	午後	予約診療			前澤 浩			
腎・内分泌	午前	予約診療	熊谷 悦子				原 悠太 横田 昌 (第1・2・4・5週)	熊谷 悦子(第1週)
	午後	予約診療	熊谷 悦子(DM) (第2・3・4・5週) 原 悠太(第1・3週)	熊谷 悦子 (CAPD)第1・3週 (HHD)第2・4週	熊谷 悦子 (第1・2・3・5週は CKD外来あり)			
嚥下外来	午後	予約診療		福村 直毅				
整形外科	午前	予約診療	平林 直章					
もの忘れ	午前	予約診療	北原 正和 (第2・3・4週)		牛山 雅夫			
	午後	予約診療						
精神科	午前	予約診療			服部 美秀			服部 美秀(月1回)
	午後	予約診療			服部 美秀			
	夕方	予約診療			服部 美秀			
脳神経外科	午前	予約診療		北原 正和		北原 正和 (第1・3・5週)	北原 正和	
	午後	予約診療		北原 正和 (第1・2・3・5週)	前澤 浩	北原 正和 (第1・2・4・5週)		
外科	当日受付		本田 晴康	赤澤 智之	交代制	津澤 豊一	津澤 豊一	休診
	午前	予約診療	本田 晴康	本田 晴康 赤澤 智之	林 誠一(振動病) (第1・2・3・4週)	津澤 豊一	赤澤 智之 (第1・2・4・5週) 津澤 豊一	本田 晴康(第3週)
	午後	予約診療				熊谷 嘉隆 (第3・5休診)		
乳腺	午後	予約診療	本田 晴康 (第3,偶数月) 赤澤 智之 (第3,奇数月)					
肛門外来	午後	予約診療					本田 晴康 (第2・4週)	
泌尿器科	午前	当日受付	熊崎 匠	熊崎 匠		熊崎 匠	熊崎 匠	熊崎 匠 (第2・4週のみ)
形成外科	午前	予約診療	矢高 森人				矢高 森人	
	午後	予約診療		矢高 森人	矢高 森人			
小児科	午前		和田 浩	和田 浩	和田 浩	和田 浩 鈴木直美/光武鮎 (交代制)	和田 浩	和田 浩 (予約のみ)月2回
	午後			和田 浩	和田 浩	和田 浩		
	夕方		和田 浩				和田 浩	
禁煙外来	午前	予約診療				八木 ひかる		

